

2020年6月8日

各 位

株式会社八十二銀行

### 信州産のCO2フリー電力の活用について

八十二銀行（頭取 湯本 昭一）は、2020年6月8日から長野県公営水力を活用した信州産のCO2フリー電力を調達し、長野県内6店舗での利用を開始します。

本取組みは、当行が中部電力ミライズ株式会社（代表取締役 大谷 真哉）を通じて、長野県企業局（公営企業管理者 小林 透）が運営する水力発電所でつくられた「信州 Green でんき」を活用することにより、温室効果ガスの削減とエネルギーの地産地消を同時に実現するものです。

当行は、「信州 Green でんき」プロジェクト（注）への参画を通じて、低炭素電源や地産電源の活用による環境負荷軽減に向けた取組みを進めるとともに、長野県内の再生可能エネルギーの普及・拡大に向けた取組みを推進していきます。

#### 【「信州 Green でんき」活用店舗】

開 始 日	2020年6月8日（月）
店 舗 名 （全6店舗）	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 大門町支店</li><li>・ 中野支店 ※「CO2フリー店舗」</li><li>・ 上田東支店 ※「CO2フリー店舗」</li><li>・ 中軽井沢支店</li><li>・ 広丘支店</li><li>・ 岡谷支店</li></ul>

※ 中野支店および上田東支店は、実質的に再生可能エネルギー100%の電気を使用する「CO2フリー店舗」となります

（注）「信州 Green でんき」プロジェクト

長野県企業局が運営する美和発電所、春近発電所等の長野県内17カ所の水力発電を活用して、CO2フリーや地産電源を長野県内や大都市圏に販売することで長野県内の脱炭素化と「信州産電気」のブランド化を推進する取組み。

以 上